

はにいいい

子どもの視点で

平成28年2月16日

今日の授業の主役は先生です。

「すごい!」「気持ち悪い!」

スズメバチを双眼実体顕微鏡で観察した先生が最初に発した言葉です。

講師が言葉を受け止めながら、その先生に尋ねます。

「何かありましたか。」

「毛のようなものがたくさんあってびっくりしました。」

「そうですよね。つるつるしているように見えますよね。」

もう一度確かめるようにその顕微鏡を覗き込みました。そして、スケッチを始めた先生からこんなつぶやきが

「なぜこんな毛があるのだろう。」



「子どもって吸い込まれていくよね。」

水を熱する実験が終わり、講師から

「まだ熱いので、器具の片付けは後にします。」という指示がありました。

この時、器具を触る一人の先生がいました。

「『熱い』と言っているのに、つい触ってしまう子がいるよね。子どもって器具に吸い込まれていくよね。」

「頭で分かっているけど、ふと手が出てしまうことがあるよなあ。」

あらためて安全な実験の組み立てについて考えました。



双眼実体顕微鏡：両眼で観察する顕微鏡。立体的に見ることができる。比較的低い倍率（20～40倍）での観察に適している。

『はにいいい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp